

大野 誠一郎 議員

龍ヶ崎市官製談合事件は

何故起きたのか？

議員 元社協副会長長川北被告は、官製談合事件の動機について、市長の支援のために、10年間にわたり、談合が年に10件、行われたと公判の被告人質問で答えています。その件について、市長の認識をお伺いします。

市長 公判の中で、被告から、そのような発言があったことについて驚いておられます。引き続き、公判の推移を注視して、事実確認に努めるほか、適切に対応してまいります。

議員 元社協副会長が人事の介入、市政に影響力があつたことについて、どのような認識をされているかお伺いします。

市長 市の人事がゆがめられていたと言及されていることから、今後予定される、川村元副市長の公判についても注視してまいります。

議員 中山市長就任以来、

◆**掲載以外の質問項目**
◆**市長交際費について**

委員会 審査報告

※第2回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務、文教福祉、環境生活）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について掲載しています

▼総務委員会

議案第1号 龍ヶ崎市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例について、委員より質疑があつた後、採決の結果、**賛成多数で了承**しました。

委員 市長の給与減額を3割とした根拠を伺います。

人事課長補佐 過去、当市で不祥事があつた際に、市長が実施した給与減額は、1割カットを一月行うというものでした。また、直近でおきた他自治体の官製談合防止法違反において、その首長が管理監督責任として行った給与減額4件は、カット率が1割から2割の範囲で期間は一月から三月の範囲でした。いずれにしても、減額については、今、申し上げたような背景も踏まえて、市長自身が決定したものです。

委員 市全体を統括する市長の責任は大変大きく、個人的には、辞職相当であると考えていますので、この議案には反対いたします。

▼文教福祉委員会

議案第7号 令和3年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第5号）について、委員より質疑があつた後、採決の結果、**賛成多数で了承**しました。

委員 新型コロナウイルスワクチン接種の、個別接種と集団接種について、申込開始日の周知がされているのか、また、周知の仕方についてお伺いします。

新型コロナワクチン対策課長 個別接種、集団接種ともに、基本的には、高い年齢から5歳刻みで、予約開始日を決め、個別の通知を出しています。

医療機関についても、基本的には予約の混雑緩和を図るため、市の集団接種と同じ日に開始することになっていきます。

委員 これから64歳以下の方の接種が始まると、人数が多くなるので、周知の仕方や公平性についても、医療機関と連携をとっていたきたいと思えます。

▼環境生活委員会

令和3年請願第2号 新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願について、委員より意見があつた後、採決の結果、**賛成者なしで不採択**することに決しました。

委員 コロナ禍による生活困難者への支援として、国が米を買取り取って現物給付することや、ミニマムアクセス米も、国内の需要にに応じてしっかりと減らしていくことで需給のバランスを保つことは重要なことだと思つているので、請願事項の一部には大賛成です。しかし、米の買い取りにより、米価の安定を図るのはなく、農業者への直接の個別所得補償、農業者の支援や、食の安全を図っていくべきと考えるので、不採択したいと思います。

委員 米の価格が下がっていることに対して、本当に大変だと思えますが、国の政策と一緒に進むことで、それなりに所得を確保できるようにしていくべきだと思いますので、賛成することはできません。